くにみ

【第22号】
昭和34年7月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

よろこびのうちに 徳江季節保育所終る

徳江南部公民館に開かれた季節保育所は、予定の期間を終了し、本月四日午後二時、同館において閉所式が行われた。この開設から運営の中心になって活躍した分館長村上豊一氏は、就任最初の大事業が成功のうちに終ったようこびを次のように語った。

「ねこの手も借りたい農繁期に、手足まといの幼児をあずけて、安心して生産に専念できるということは、ほんとうによろこばしいことです。保育に当られた先生方の御苦労に対しましては地区民として心から感謝申しあげますと共に、物心両面からご協力ご援助下さつた町民並に町当局に対し、深く謝意を表する次第です。尚かかる有意義な事業が、他地区にもどしどし開設されることを心からお祈りいたします。」

また、この季節保育所三年の業績を反省して、その効果につき父兄代表の蓬田正敏氏は次の様にかぞえあげている。

1、こどもの団体生活がよくなつた。
2、間食をしないようになり、毎日午睡(ひるね)をするなど、節度ある生活をするのできわめて健康体になつた。
3、いろいろの遊び方をおぼえ、あぶない遊びや悪いいたずらをしなくなつた。
4、こどもの行く先など心配せず、毎日安心して働くことができるのは親として何よりである。
5、午睡も心配なくできるから親の健康上も非常によい。
6、保育料など多くかかつても、六月から八月まで三ケ月間くらい希望する父兄が多い。
7、町でも、保育所に行けない地区のことをよく考えてもらいたい。

次に運営の実態について庶務係の佐久間成美氏にきいてみる。

○経費として合計三二九五〇円

内訳

人件費　一三、〇〇〇円
設備費　四、五〇〇円
給食費　九、五〇〇円
その他　五、九五〇円
(教材、事務、御生費等)

○その財源として

町委託費　一五、〇〇〇円
保育料　九、二五〇円
(一人一日一〇円)
公民館(分館)負担　四、〇〇〇円
二、〇〇〇円
雑収入　二、七〇〇円

○尚父兄より野菜、みそ、しょう油、薪等の援助をうけ又婦人会、農協、地元商店等から給食用菓子等の寄附をうけている。

人生学校(修行の巻)

ばつかり飯

春日佑幸

いつかの婦人学級でばつかり飯ということを教えられたがこれはまた暗示にとんだごちそうだ。納豆つくだに味噌ばかり或はたくあんばつかりやこんぺい糖のとげばかりはいばつかりのおふくろも悪いとばかりいえないが朝ね　朝酒　朝風呂や月々火水木金々おこつてばかりがみがみとくどいてばかりくよくよとお世辞ばかりもあるそうな一切ソ連一辺倒一切アメリカさまさまもどうかと思うふしがあるきのうは東今日は西風にそよいでいるばかり金や名誉にひきずられ尻ぼをふつているばかりこれを大事な世わたりと一つおぼえにわりきつてばつかり飯でくらすのは少々こころの栄養がかたよることになるそうな

明るい町の見本として 全国に紹介されました

【写真】は同誌とその記事

厚生省、全国社会福祉協議会などで発行している月刊誌「明るいまち」のグラビヤ版に「一〇年後には結核のない町に」という大見出しで、わが国見町のことが紹介されました。同誌記者の「ルポ」として、配水地から見た国見町、乳幼児の検診、結核検診、動脈による蚊とはえの征伐などの状況にくわしい説明をつけて、十年後には一人の結核患者もなくなるだろうと称揚しています。同誌は二十万部をつくつて全国のすみずみまでバラまかれるわけです。

郷土発展に寄与する中堅青年を養成

福島県教育委員会事務局伊達出張所では、管内地教委連絡協議会と共催で、中堅青年講座を開くことになり、来る本月十六日保原公民館で開講式をあげる。この講座は、各地教委から推せんされた男女青年に対し、国家の要請する平和的、民主的、文化国家の礎石となる教養を身につけ、郷土発展に寄与する中堅青年を養成することを目的とするものである。この講座の期間は満一年とし、毎年四月に始まり翌年三月に終る(但し今年は七月から)

清新な気分で再建に努力 農業共濟組合役員決る

国見町農業共済組合では五月二十三日第四回総代会を開き役員選挙の結果次の通り決定した。

理事　◎組合長　○副組合長
(小坂地区)○後藤清四郎　仲野直一郎
(藤田地区)　八島　昌

(森江野地区)◎宍戸武雄　菊地　太三
(大木戸地区)　高橋　勇記
(大枝地区)　松浦市三郎　大沼　酉治　玉手　金治　後藤　俊雄

監事　◎監事長
(小坂地区)　高橋　千治
(藤田地区)　吉田　一雄
(森江野地区)　引地　守
(大木戸地区)◎酒井　保

【宍戸武雄組合長談】

今回皆様の御推せんにより役員の席に列し、更に組合長の重責を与えられましたことは誠に光栄と存じますと共に、その責任の重大さを痛感する次第であります。(中略)私は公平無私な立場から、法律による組合であると共に農家皆様の組合として、スムーズな運営を行い、清新な気分で再建のために最善をつくしたく存じますので、組合員の皆様にも農業災害補償制度の成果を収め得るよう特段の御支援御協力を賜わりたくお願いいたします。

吾妻登山

期日とコース
第一日(二十五日)

「大木戸校の給水問題は八十年という長い歴史をもち、このことについては歴代の村長や学校当局はもちろん、PTAも頭をなやまし続けてきたわけである……」

この四月、大森小学校から転任して来た菊地四郎校長は、坊主頭から湯気を立てながら一いきにこまごまと語つてコップの水をうまそうにのみほした。かつて当校に四ケ年在職してその苦労を骨の髄までしみこんでいる筆者も、その熱意におされて、だまつて傾聴せざるを得ない。

「そして、どうしても新しい水源がほしいと、各部落からの奉仕により試掘をしてみたが、結果は思うようでない。こうしたPTAの熱意にこたえてか、貝田の大沼忠四郎氏の科学的調査により有望なる水源を発見し、町当局の強力なる推進で六十尺のボーリングに成功、水中ポンプによる揚水で今や小中学校には甘露のような水が送られた……」

校長先生の言葉はどこまでもつづく。校庭に遊ぶこどもたちの顔もきわめて明るい。

「PTAの仕事はそればかりではない。長年の懸案とされている校庭の拡張問題がある。四号国道の工事と平行し、十月までには完成の見込である。そして、その拡張成つた校庭にはジャングルジム、雲梯、すべり台、小鳥舎、ブランコ、固定バックネットなど一斉に設備される予定である。」

「会長さん、ほんとかい。」と反問したら、八島氏はうなずきながら、更に感激の眸で次のように語られた。

「この校庭拡張のために移転を余儀なくされた高村博厨氏について忘れてならないと思います。高村氏はこのような学校のよろこびをわがよろこびとして、ここよく移転を承諾された。この好意と大沼氏の美挙とは、地区民にとつて終生忘れてならないことでありましょう。」

筆者は何かの肩の重荷をおろしたような軽い気持で帰途についた。(S)

PTA訪問記(1)

(大木戸小中の巻)

現場におけるPTAの役割はどんなものか、先ず近頃弘法情水現代版で前号本紙面のトップをかざつた大木戸小中PTA訪問に出かけた。

BTA(ボスと先生の会)だとか、PTAの本来の姿とか、最近とかくPTAのことについて世間をにぎわしているので、一体教育の推進員会長や煙草耕作組合役員として、八面六臂の活躍をしている少壮有為の人材であることは筆者のほめすぎとのみはいいきれまい。

土を運ぶダンプカーがひつきりなしに通る。農協わきに真新しい土はだをあらわした擁壁、四号国道への取付道路であるか、その上に長長とのびた配水管、これがうわさの水道とは誰の眼にもうなずける。とにかく敬意を表するために小学校をたずねると、折よくPTA会長の八島福太郎氏も来ておられた。八島氏は前に町の教育委員をつとめ、教育行政に対する識見は極めて高く評価されているばかりでなく、現に農業改良推進員会長や煙草耕作組合役員として、八面六臂の活躍をしている少壮有為の人材であることは筆者のほめすぎとのみはいいきれまい。

「そして、どうしても新しい水源がほしいと、各部落からの奉仕により試掘をしてみたが、結果は思うようでない。こうしたPTAの熱意にこたえてか、貝田の大沼忠四郎氏の科学的調査により有望なる水源を発見し、町当局の強力なる推進で六十尺のボーリングに成功、水中ポンプによる揚水で今や小中学校には甘露のような水が送られた……」

校長先生の言葉はどこまでもつづく。校庭に遊ぶこどもたちの顔もきわめて明るい。

「PTAの仕事はそればかりではない。長年の懸案とされている校庭の拡張問題がある。四号国道の工事と平行し、十月までには完成の見込である。そして、その拡張成つた校庭にはジャング

(四)望ましい第三の型

活動の主体が、子どもを含めた地域の大人で、その地域の子ども全体が会員となつて活動する。大人の一方的な押しつけでなく、子ども等の自発的な活動が尊重され

1、大人が中心となつて企画し実行する部面と
2、子どもが自発的に考えて実行する部面と
3、子どもが考えて、大人が応援して実行する部面

とある。

(五)補導員の仕事

1、子ども会の会場をみつけてやること。
個人の宅、作業場、公民館、夜番小屋、神社仏閣の境内又は廻り番で補導員の宅
2、会場には、補導員が何人かは必らず出席する。
3、経費の面倒をみてやること。
会費(小遣の中から)特志寄附、部落会の分担、PTA会費の還元
4、なるべく毎月一回定例会を開き、子ども会の会長、役員との打合せ

(七)子ども会の会長及び役員

1、子どもの中から子ども会長を選ぶこと。
2、会長は役員と共に、その子ども会の運営一切を自主的に行う
3、会長同志の会合をもつて行事の内容種目について研修し、打合せする
4、会長と補導員、役員も加えた補導員等の合同会議をもつ

(六)先生の役割

1、補導員の指導
学校の校外指導の方針について、PTAと補導員にくいちがいのないよう指導する。補導員の正しい補導のあり方について補導する。
2、子ども会会長の指導
子ども会の会長を集めて行事の種目について及び運営について指導訓練する。

(九)子ども会の常時活動

子ども会は、学校の夏休みや冬休み中ばかりでなく、年間を通じ、一貫した計画をたてて開くよう工夫し、月一回又は週一回としたい。

(八)指導打合せの研究集会

1、学校、PTA等との校外指導の方針の連絡、調整
2、児童心理や、子どものしつけについての研修
3、会議のもち方、ゲームの実技講習、幻灯会、レクリエーション、見学遠足等の調査、計画等
4、なるべく毎月一回定例会を開き、子ども会の会長、役員との打合せ

「子どもの社会を育てましょう」

子ども会育成の手びき(三)

自身に選ばしめる

藤田車庫集合(正午)
全バスで出発(〇、三〇)
高湯着(二、〇〇)
家形ヒュッテ着(五、〇〇)一泊
第二日(二十六日)
ヒュッテ発(五、〇〇)
五色沼—一切終—噴火口—吾妻小富士—吾妻小屋—景場平—幕川温泉(一、〇〇)—野地温泉着(二、〇〇)—(休)—全発(四、三〇)
藤田着(六、三〇)

経費　六〇〇円
バス代往復(貸切)三五〇円
宿泊料　一七〇円
入湯及席料　五〇円
その他　三〇円
他に米七合、野菜少々
申込七月二十日迄公民館へ
(会費六〇〇円を添えて)

(税務課調)

昭和33年度町税地区別納付歩合(現年度分)

	藤田	小坂	森江野	大木戸	大枝	平均
県民税	93,1	97,2	97,1	92,1	95,0	95,6
町民税						80,9
法人税	91,6	96,6	93,9	99,2	92,9	95,4
固定資産税						90,1
自動車税						92,0
軽自動車税						95,4
国民健康保険税	87,8	93,9	93,7	97,9	91,9	92,4

◎たばこは町内の販売店からお求め下さい(代金の十一パーセントは町に還元されます)

◎今月の納税は固定資産税第二期と所得税第一期です

「親子の対立をどうとくか」を読んで

近頃は青年たちがよく「親父は古い」とか「どうも封建的で困る」というのに対し、親父さんたちはどう考えたらよいか。わたしは最近、農友会発行の農業改良推進員テキストで、農村評論家松丸志摩三先生の「親子の対立をどうとくか」の一文をよんで大へんおもしろく感じた。先生は同文で大たい次の五項目について主として息子側からみた心構えというようなことを述べておられる。世の親子特に青年各位の一読否御精読を希望する。

第一、話しあうということを忘れないこと

第二、話題を豊富にする努力がたりないこと

第三、人の身になって考えることの必要なこと

第四、決断力をもったうえでの発言をすること

第五、親父の反対にはそれ相当の理由があること

そして最後に「この術(て)こそ効果がある」という一段を設けて、青年が親父に必ず勝つ秘訣が書いてある。

(鈴木主事)

(同テキストは町内の農業改良推進員及び生活改善推進員のところにありますから借りて読まれたい)

国見連婦役員会開く

(生活改善講座実施案など協議)

国見町連合婦人会(会長高橋サタミさん)では去る七月七日午前十時から青年研修所で役員会を開き、いろいろの事業計画や報告をした。特に生活改善推進員会(会長高橋サタミさん)と共催の生活改善講座の実施については別項のようにきまった。

尚当日は県生活改善普及員の佐久間先生、町からは春日教育長、鈴木主事など臨席し、町の社会教育計画などについてくわしく説明あり、社会教育法の改正の趣旨を徹底するため、婦人会と公民館がよく連携して町内婦人層の教育に当ることになった。

提出事項次の通り

1、福島県婦人会長研修会報告

2、生活改善講座開設について

3、公民館との連携について

イ、三十四年度社会教育計画

ロ、婦人学級

ハ、視聴覚教育

ニ、広報活動

ホ、社会教育関係団体調査

ヘ、その他

4、社会教育法一部改正について

5、福島県母親大会について

6、県北地区婦人指導者講習会について

7、その他

われらはこうして学習する(二)

幻灯を利用して……興味的に

青年学級や婦人学級の学習に講師がこれを利用して説明の手段とすることはよく行われていることですが、部落学習や小団学習などでは講師にかわるものとしてよく利用されています。みんなで幻灯を見たあとで話しあいをする、フイムフォーラムです。映画をつかっての話しあいはよく用いられますが、それにまさるとも劣らない効果があります。よくこれを実行してその効果をあげているS君の話僕達の部落学習ではときどき幻灯を使って勉強したり、楽しんだりしています。映画やテレビもつかってみますが、それぞれ一長一短があって、必ずしも幻灯が時代おくれのものとはいえません。幻灯のすぐれた点をあげると

(1)、いつ、どこでも使える

(2)、だれでもすぐ使い方がわかる。僕の部落では婦人会でも使っています

(3)、わざわざ他から指導者をたのまなくとも、自分たちで勉強できる

(4)、みんなで話しあいする手がかりをつかめる

(5)、速さを加減してみんなに徹底できる

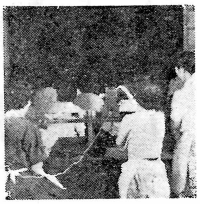
(6)、面白いからレクリエーションとして大いに役立つ

(7)、続み方、話し方のけいこになる

(8)、金がかからない

(9)、工夫力、実行力が養える

【写真】は幻灯で勉強する婦人学級

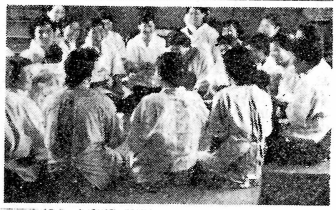


カキクケコで婦人の生活を高めましょう

藤田婦人会

皇居奉仕決る

藤田婦人会では九月五日から四月間、皇居の清掃など勤労奉仕に行くことになった。一行六十名は九月四日午前七時三分出発、奉仕作業の外、都内をはじめ、横浜、鎌倉、江の島、箱根方面の見学をして十日帰る予定。経費約五千円



【写真】話しあいから考える勉強へ入る若妻グループ

(ケ)行動する即も実行する(コ)の(カキクケコ)の五つを勉強することによって女の生活を充実し、婦人の地位を高めようというのです。

第1回 生活改善講座開く

方部婦人会長がまとめて公民館に申込むことになっており、定員は五二名(小坂一〇、藤田二〇、森江野一一、大木戸六、大枝五)

尚第一回の研究題目は

一、栄養自給計画の立て方

二、生活改善研究会育成について

国見町連合婦人会、同生活改善推進員会共催の生活改善講座はいよいよ来る二十七日午前九時三十分から青研修所で開かれることになり、目下講座生の募集中である。講座生は各部落婦人会長の推せんしたものを

今月のエルモ映画

プログラム

1、友情コンクール五巻

2、瀬戸内海　三巻

3、小鹿の太郎ちゃん　二巻

4、ふしぎな笛吹き二巻

5、アリタイムズ　三巻

日程

藤田4 5 6日、大枝7 8 9日、大木戸10 11 12日、県北13日(石母田)、小坂14 15 16日、森江野17 18 19日、20日以後希望

婦人会一覧

(1、会員数　2、予算　3、役員)

(◎会長○副会長△会計×書記)

1、一五名　2、四、八〇〇円

3、◎熊坂ヤイ○仲野スイ△古内イチ×菅野キヌ

小坂婦人会

1、一五名　2、四、八〇〇円

3、◎佐藤あやを△瀬戸絹子○井砂マチヨ×大浪ヨテ

藤田婦人会

1、三〇〇名　2、四、二六円

2、◎城田キヨ○佐藤京子○市川英子○吉田キミ△三品サト×古宮千代×鈴木キチ

森江野婦人会

1、二四三名　2、四三二五円

3、◎佐久間いち○佐藤一江○佐藤トク△徳江ナツ×村上トク×石幡トキ

大木戸婦人会

1、二四二名　2、三、五五円

3、◎大沼春代○斎藤シナ△八島アキ×鈴木トキ子

大枝婦人会

1、一〇〇名　2、三、六五円

3、◎佐藤あやを△瀬戸絹子○井砂マチヨ×大浪ヨテ

編集後記

○青年団に紙面半ページだけ提供しました。いいたいことは大いにいいなさい。ただし、いつたことには責任を負いましよう。

○次回は婦人会に利用していただきます。

○徳江季節保育所も三年ですつかり基礎がかたまりました。偉なるかな郷党団結の力というところですね。

○「明るい町」の見本となりたいもの、その名にはぢないよう努力しましよう。

○納税白書?を見ました。税金はみんなが納めるものと思っていたのに、納めない人もいたのですか。

○「待てば海路のひより」といつても、ただ手をこまぬいていては、水もこないし庭もひろがらない。やはり「天は自ら助くるものを助く」ですね。

○全国水道週間きまる。七月25～31日)新設申込み殺到し、水道係うれしい悲鳴。

○子供会の運営、子供だけにまかせると計画は実行されないし、大人のクラブになるもよくない。といつて放任するのは最もよくない。

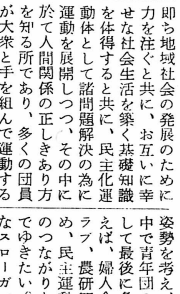
○信仰は自由。ただし科学を否定した信仰は迷信と申します。

青年らん

連青方針決る

「平和」と「民主々義」を守る学習活動をすすめよう

昭和三十四年度国見町連合青年団第五回通常総会は、去る三月二十二日午前九時より青年研修所で行われ、団長は昨年に引き続き八島博正氏に決定した。団長は今年度の方針を次の様に語る。



三十四年度も昨年に続いて団長に選ばれ、まだまだ未熟な私にとつては、とても重荷である。

しかし青少年問題が社会問題として注目され、又青年運動を含む民主運動も大きな過渡期にあり、その中にあつての青年団活動も大きな問題につきあたつている。こうした時期に於て、前向きの姿勢で正しい方向に向つて進む青年団にすべく、あえて薄学な者ではあるが、今年もなんとか団員諸君、並びに先輩町民各位の御協力、御指導のもとにつとめたい。

今迄の青年団活動を通して痛感する事は、一体青年団の目的はどこにあるかと云う事でした。青年運動の主体をなす青年団の目的について私は次の様に思う。

即ち地域社会の発展のために力を注ぐと共に、お互いに幸せな社会生活を築く基礎知識を体得すると共に、民主化運動体として諸問題解決の為に運動を展開しつつ、その中に於て人間関係の正しきあり方を知る所であり、多くの団員が大衆と手を組んで運動する共同体である処に大きな意義があるんだと思う。

こうした事にかんがみ今年は平和と民主々義を守る前衛となり、学習活動の中で自分の姿勢を考え、話し合い活動の中で青年団の体質と変え、そして最後に各種民主団体、例えば、婦人会、農青連4Hクラブ、農研等々との提携を強め、民主運動を進める為の横のつながりをしつかりと組んでゆきたい。以上四つの大きなスローガンのもとに今年の活動に入り、連合青年団と云うものが各方部単位青年団の指導的立場に立ち、連絡を図りつつ青年団活動の新しい方向へ一歩一歩前進したい。

新役員決る

演劇発表など…行事・予算も

五月八日午後八時より青年研修所で第一回評議員会を開き次の新役員が承認された。

団長　八島博正　藤田
副団長　後藤好美　小坂
〃　菅野トク
〃　監事　八島藤市　厚樫
〃　高橋力　藤田
〃　八巻勇一　森江野
事務局長　新村国夫　小坂
〃　次長　中野忠重　藤田
会計　岩城重夫　藤田
総務部長　若林清一　小坂
副部長　玉手正平　大枝
文化部長　佐野武光　森江野
副部長　佐藤洋一　大枝
産業部長　半沢博　厚樫
副部長　鈴木正夫　大枝
体育部長　佐藤昭次　森江野
副部長　村木一郎　藤田
家政部長　谷津貞厚　樫
副部長　佐藤三枝子　藤田

主張　生活に結び付いた青年運動を!!

最近青年運動は壁に突当つてしまつたといわれているが、その壁とは何だろうか。我々青年は此の壁を良く考えねばならない。又どうして壁に突当つたかも同様に考えねば壁を押しぬいて前進する事が出来ない。

その壁とは社会の矛盾とそれにつらなる青年と青年以上の者達との思想の食違いである。又、青年運動に対する我々青年に与えられた時間と経済力等であるが、これらの壁は現実を一考した時に感じられる壁であつて、これらの指導の立場にある人達はもちろんの事、我々青年として、もつと身近な、壁のあることを見ぬく事がほしいものだ。もしそれを見ぬく事が出来なければ、大人達の制約された社会にとじられてしまう。

現在の青年活動をふりかえつて見るとわかるごとく、我々の日々の生活からあまりにもかけはなれている事が感じられるのではないか。

このような状態が団見連青にも多少なりと起つて居る。むろん連青のみでなく各単位団の活動が各目的あるいは、乾部のみの理想的な考え一つであるごとき活動が多いのではないか。

今後の青年活動は、リーダー一人だけの手でなく、多くの同志と手を結び互いに理解つと身近な、壁のあることを見ぬく事がほしいものだ。もしそれを見ぬく事が出来なければ、大人達の制約された社会にとじられてしまう。

現在の青年活動をふりかえつて見るとわかるごとく、我々の日々の生活からあまりにもかけはなれている事が感じられるのではないか。

又、青年運動に対する我々青年に与えられた時間と経済力等であるが、これらの壁を一考した時に感じられる壁であつて、これらの指導の立場にある人達はもちろんの事、我々青年として、もつと身近な、壁のあることを見ぬく事がほしいものだ。もしそれを見ぬく事が出来なければ、大人達の制約された社会にとじられてしまう。

現在の青年活動をふりかえつて見るとわかるごとく、我々の日々の生活からあまりにもかけはなれている事が感じられるのではないか。

我々青年は平和と民主々義を守るごときことは、生活に関係の無いように考える人が多い。その反面我々の生活から切りはなす事の出来ない問題であると考える人々が居る事もたしかである。この様に青年層の中には種々な見方、考え方があり、今年度の方針は、完全に地から浮いたスローガンであるごとく考えるものが多いようであるが、これは、集団の中心者の考え一つで変る事である。

あくまでも実生活に結びつゆた学習生活をしようと主張考えてほしい。云いかえればこのねらいをいかに学習して身に付けるかである。

我々青年は平和と民主々義を守るごときことは、生活に関係の無いように考える人が多い。その反面我々の生活から切りはなす事の出来ない問題であると考える人々が居る事もたしかである。この様に青年層の中には種々な見方、考え方があり、今年度の方針は、完全に地から浮いたスローガンであるごとく考えるものが多いようであるが、これは、集団の中心者の考え一つで変る事である。

あくまでも実生活に結びつゆた学習生活をしようと主張するのである。

各部の行事、予算

各部提出の行事計画、及び予算は五月二十八日に開かれた第二回評議員会にかけて次の通り承認された。又本年は新しく文化部に演劇発表会がつくられた。

▼国見連青予算

収入	
前年度繰越金	五八八円
負担金	七、五〇〇
事業収益金	一六、五〇〇
助成金	一三、〇〇〇
合計	三七、五八八
支出	
事務費	六、〇〇〇
負担金	四、〇〇〇
事業費	二五、五〇〇
予備費	二、〇八八
合計	三七、五八八

▼各部行事

(カッコ内は予算)

総務部(四、〇〇〇円)　随時募集
団歌制定
世論調査　七月上
指導者講習会　八月上
文化部(一九、〇〇〇円)
弁論大会及講演会一月下
団報発行　年六回
演劇発表大会　二月
体育部(五、五〇〇円)
球技大会　八月九日
卓球大会　三月
ダンス講習会　毎月十日
ダンスパーティー十二月
産業部(三、〇〇〇円)
俵編競技会十二月二十日
家政部(四、〇〇〇円)
女子研修会(九月十三日　二月七日
料理発表会　十二月下